

(第1-5号様式)

講師一覧表

※ 履歴の提出状況（1：既に提出済 2：今回提出）

1か2に○をつけること。

	担当 科目名/項目名	講師 履 歴
1・2 (専任・兼任) 加藤浩司	1(1)多様なサービスの理解 1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解 2(1)人権と尊厳を支える介護 2(2)自立に向けた介護 3(1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 3(2)介護職の職業倫理 3(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント 3(4)介護職の安全 4(1)介護保険制度 4(3)障害者総合支援制度及びその他制度 7(4)家族への支援 8(3)家族の心理、かかわり支援の理解 9(1)介護の基本的な考え方 9(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解 9(5)快適な居住環境整備と介護 9(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 9(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 9(12)死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護 9(13)介護過程の基礎的理解 10(1)振り返り 10(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	現職名 介護支援専門員 (経験年数) 15年 職歴 (関連経歴) 平成2年4月～平成17年12月 社会福祉法人親和会老人保健施設松和会 平成5年4月～平成17年12月 社会福祉法人花園福祉会特別養護老人ホーム長寿苑 平成18年10月～平成21年8月 テルメリゾート天然温泉ユラックスボディケア 平成24年8月～平成26年4月 グループホームかりんの家 平成26年4月～大安ひまわり 取得資格：介護支援専門員 (取得年月日) 平成13年4月2日 介護福祉士 平成5年3月29日

<p>1 ・ 2 (専任・兼任) 生川恵子</p>	<p>4(2)医療との連携とリハビリテーション 6(2)高齢者と健康 7(1)認知症を取り巻く状況 7(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 7(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 8(1)障害の基礎的理解 8(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識</p>	<p>現職名 (経験年数) 看護師 11年 職歴 (関連経歴) H. 19年4月 ~H23年12月 みたき総合病院 ウィラ四日市在宅介護サービスセンター H27年11月~H29年6月 常盤デイサービス H29年7月~ ひまわり石塚 取得資格：看護師 (取得年月日) 平成19年4月9日</p>
<p>1 ・ 2 (専任・兼任) 高森敬子</p>	<p>5(1)介護におけるコミュニケーション 5(2) 介護におけるチームのコミュニケーション 9(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 9(4)生活と家事 9(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 9(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 9(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 9(11) 睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護 9(14)総合生活支援技術演習</p>	<p>現職名 (経験年数) 介護職 職歴 (関連経歴) 平成7年4月~平成8年3月 社会福祉法人富起園 平成8年4月~平成10年8月 社会福祉法人千奉会 平成10年9月~平成29年7月 社会福祉法人青山里会 取得資格：介護福祉士 (取得年月日) 平成12年3月1日</p>
<p>1 ・ 2 (専任・兼任) 濱口博通</p>	<p>10(1)振り返り 10(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修</p>	<p>現職名 介護福祉士 (経験年数) 7年 平成23年1月~平成30年3月 社会福祉法人真心の会 取得資格：介護福祉士 (取得年月日) 平成26年4月18日</p>

<p>1 ・ 2 (専任・兼任) 寺本すみ子</p>	<p>6(1)老化に伴うこころとからだの変化 と日常</p>	<p>現職名 准看護師（経験年数）40年 職歴（関連経歴） 昭和50年4月～昭和53年3月石田胃腸科 昭和53年4月～昭和60年12月板倉耳鼻科 平成元年4月～平成4年3月位田医院 平成4年5月～平成7年3月小野外科 平成12年2月～平成15年5月鈴鹿病院 平成18年3月～平成24年7月おりがみ 平成26年4月～大安ひまわり</p> <p>取得資格：介護福祉士 (取得年月日) 平成26年4月18日</p>
------------------------------------	------------------------------------	--

- 履歴の提出状況の「1 提出済」とは、講師名が記載されている当該の科目について履歴が提出済の場合であり、既にいくつかの科目を担当している講師が、新しく別の科目を担当することとなった場合、新しい科目についてのみ「2 今回提出」とすること。
- 専任・兼任の区分は申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。
- 資格欄は担当科目（項目）にかかる別表1講師要件一覧に該当する資格のみ記載すること。